

◇この議事速報は、正規の会議録が発行されるまでの間、審議の参考に供するための未定稿版で、一般への公開用ではありません。

◇後刻速記録を調査して処置することとされた発言、理事会で協議することとされた発言等は、原発言のまま掲載しています。

◇今後、訂正、削除が行われる場合がありますので、審議の際の引用に当たっては正規の会議録と受け取られることのないようお願いいたします。

○筒井委員長 次に、谷川弥一君。

○谷川委員 自由民主党の谷川弥一です。

質問に入る前に、今の政治家に決定的に欠けていること、これは自民党も含めてですが、まず一つは宗教心のなさ、二つ目は哲学がない、三つ目は理念がない、私はこういうふうには実は思っています。

私が言う宗教心というのは、仏教に、「如何なるか是れ仏法的々の大意」という質問があるときにある和尚にしました。趙州和尚にしたんですが、答えが無と云うんです。どういう意味かわかりません。本には書いていなかったんです。

ただ、六十八年生きてきて私が思うことは、仏法の真髓とか、意識すると、人間はどうして生きていったらいいんですかという質問に対しては、人に聞かなくてもあなたがわかってるだろう、無心になればわかるだろう。結局、欲とか徳とか、人に褒めてもらいたいとか選挙で票が欲しい

とか、そういうことを言うから迷うのであって、そういうことを全部そぎ落としてしまえば、すつとあなたはあなたのこと自分でわかるよ、そういうことかなと思っているんです。あるときにはまた喫茶去と答えております。まあお茶を一杯飲んで帰らんね、そういうことだと思っております。

哲学とは、我々は満州事変を物すごく批判します。それは、そのときに物すごい世界的な不況が来て、いろいろな銀行なんかもつぶれたんですが、そのときに要するに職がなかった、食えなかった、東北の子女が身売りをした、そういうときに職場が欲しくて満州に攻めていった、自分の問題を解決するために満州を攻めた。ところが、よくよく考えていただきたいんですが、その満州事変を批判する人たちが今、縦の満州事変をやっているんです。それは特に民主党が激しいんです。

どういうことかといいますと、今、現代社会の失業とか食えないとかいろいろ問題を解決するために借金をどんどんやっている。例えば、子ども手当をやるよ、それから高速道路をただにするよ、財源は無駄な金があるんだよ、国家公務員を二割カットするんだよ、こう言ってやった。それが実はできなかった、なかった。それならその政策をやめればいいんだよ、なかったんだから。しかし、それを借金でやっていく。それを、あなたには言われたくないよ、こう民主党の連中は言うんですが、あなたに言われたくないより率が高いじゃない。

例えば、ことしの単年度の財政赤字は十・六とか八・二とか言っていますが、日本はギリシャよ

り高いんだよ。累積なんかうんと高い、二百十八とか百八十二とか言っていますけれども。そういう状況になったときに、これ以上やっていけない、これは我々、政策として財源がなかったんだからこの政策はやめよう、これが私の言う哲学であります。

理念というのは何だというと、理念というのは、小さな政府から大きな政府へ、大きな政府から小さな政府へというのが政権交代の常道であって、大きな政府からさらに大きな政府に政権交代をしていったら国が滅びるんだ、これが私の言う理念です。哲学から派生した理念です。

あら、大臣はいなくなったのかな。これは大臣に聞こうと思っているんだけど、大臣のかわりに副大臣が答えてくれますか。あなたとは同じ選挙区であり、あなたの息子さん、お嬢さんからおれはおじさんと言われているので、あなたに余り聞きたくないんだ、いろいろな思いがあるからですけれども、大臣が御手洗いに行ったんだから、あなたが答えないとしようがないよね。

○山田副大臣 今質問の内容がよくわからなかったんだけど、いわゆる今民進党はどんどん借金を重ねていつている政策をやっているんじゃないかと。（谷川委員「宗教心がない、哲学がない、理念がないと言っているんだ、コメントはどうですかと言っているんだ」と呼ぶ）自民党には哲学があつて理念があつたの。

いわゆる、これまでの八百兆を超える国の負債というのは、ではいつ、どこで、どのようにしてできたかと考えてみれば、自民政権、我々はま